

2024



第113号

館報 木の本のた

(令和6年3月1日現在)

人口	653人
男子	323人
女子	330人
世帯数	247戸



新幹線の試験運転（西二口の墓地のある「上ノ江」の畑から撮影）



新年のご挨拶

町内会長 中田 一宏

今年はや元日早々に能登半島地震が発生し、まさに激動の年明けとなりました。

この地震の影響により延期となっております令和六年度総会でしたが、何とか日程を調整し一月二十八日に開催することができました。その総会において今年度の町内会長を引き受けることになりました第三班の中田です。力不足ではありますが、皆様方のご協力をいただきながら、まずはこの一年、誠意をもって努めていきますので、どうかよろしくお願いたします。

本来であれば、一月二日に総会を終え、例年の流れに従って今年の運営を進めているところでしたが、今回の地震発生により、状況は一変しました。町内でも地震の被害がいくつか出ており、特に心の拠り所でもある春日神社の被害は大きく、修復費用等についてどのような考え方をしていくのが課題となっております。

また、第一回役員会でも、「今回のような大きな地震の場合、町としてどのような避難の仕方をするのか」という話も出ました。これについては、まだ市の方から、新たな避難体制の提案がきておりませんので、それが届いた時点で検討していく予定です。

今回の地震により、前述のような課題が明らかとなり、町全体として、災害に対する備えや防災体制をどうしていくのかを検討していく必要があると思います。具体的には、ハード面の整備や将来の備え、安全な避難方法やその訓練の仕方などをしっかり考えていく必要があるということです。

そして、防災を考えたときに、もう一つ大切なことは、町民同士の繋がりをどう作っていくかです。知っている方もいるかと思いますが、東日本大震災の際、沢山の避難所が開設されましたが、その避難所の中で非常に上手く運営できた所と、まったくそうでなかった所があったかどうかが聞かれています。その大きな違いは、「住民同士の繋がりがやまとまりがあったかどうか」であり、住民同士の繋がりは、避難所に届けられた物資以上に大切であったようです。

災害は、いつ、どんな形で襲ってくるか分かりません。それを踏まえ、私の町内会長としてのテーマを「繋がりと防災」とし、それに向け、精一杯、努めていきますので、この一年、よろしくお願いたします。

令和六年度 初総会

能登の震災のため今年は一月二十八日(日)に初総会が行われました。

昨年と同様に新型コロナとインフルエンザウイルス蔓延防止により「委任状」による出席の奨励と書類による事前の議案提示が行われました。初総会では、第一号事案、第三号事案が審議され承認されました。また、新町内会長として中田一宏氏が選出され、山本憲宏氏が町内会長職務代理の体制で町内会の運営を行うことが発表されました。

同時に町内会長選任の役員も選出されました。

一、初総会の成立

初総会は出席者数と委任状の件数を合計した数が町内会の会員数の過半数を超えたので、総会は成立しました。

二、各議案の審議

第一号議案 規約審議

第一班の班割と町内会費と建設維持会計費の負担割合の変更について審議され、承認されました。

第二号議案 町内会審議について

五班の旧熊田邸と中村邸の間の道路拡張について審議され、承認されました。

第三号議案 行事報告と会計決算報告

特に発言はなく承認されました。

第四号議案 役員選出と承認

執行部からの案が提示され、特に異議なく承認されました。

第五号議案 会計監査、班長の選出と承認

執行部からの案が提示され、会計監査二名と各班長七名が異議なく承認されました。最後に新町内会長のご挨拶がありました。

◆令和六年度新役員

町内会長 中田 一宏

町内会長代理 山本 憲宏

庶務会計 竹田 雅宏

公民館長 星山 勇蔵

春日神社総代 本村 彰則

《町内会長選任協議員》

村田 達成 本田 昌之

山本 幸実 中村 敏孝

本南 克実 中川 真

西 巴弦 北室 隆康

飯田 忠利

《会計監査委員(議案選出)》

本村 宏人 西田 武志

《班長(各班選出)》

一班① 本南 克実

一班② 村井 仁

二班 増田 建一

三班 宮崎 務

四班 竹本 正裕

五班 熊取谷謙一

六班 本村 彰則

《協議員》

生産組合長 山本 憲宏

壮年団団長 森本 和昭

婦人会会長 土田 陽子

令和五年度 町内会行事報告

1月2日 定時総会

5月21日 能美市民スポーツフェスティバル in ねあがり

6月17日 アメシロ町内一斉駆除、道路除草

7月9日 公民館清掃

7月30日 前期町内会費徴収

8月6日 町内追悼法要

8月27日 夏祭り(遊イソグ祭)

8月27日 防災無線の交換(一斉)

10月1日 生活排水路町内一斉清掃

10月8日 防災訓練

12月3日 後期町内会費徴収

その他 町内役員会 年8回

のみ活俱樂部 年10回

いきいきカフェ、町民カフェ

年10回



令和5年度 西二口町一般会計決算報告書

収入の部

支出の部

(単位：円)

科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
前年度繰入金	3,622,989				
町内会費	5,466,900	前期 209件 (町内186件 町外23件) 後期 202件 (町内185件 町外17件)	諸手当	999,000	役員手当 人夫賃 (アメシロ防除・町内除草) 監査委員手当 (2名) リサイクル委員手当 (2名) 配布・回覧物作業手当
補助金	465,840	街灯 (電気料) 補助金 市町会連合会事務委託金 環境美化補助金 能美市社会福祉協議会 自主防災組織整備事業補助金 空き家対策奨励金 町内会街灯 (防犯灯) 設置事業 農地・水対策助成金	負担金	219,770	市交通安全協会費 共同募金 (緑の羽根) (赤い羽根) 日本赤十字社、歳末助け合い募金 その他 (振込手数料)
雑収入	17,900	電柱敷地料、ほほえみネット精算 その他 (除雪費助成)	保険料	160,786	役員災害補償保険 行事災害補償保険 公民館建物共済保険 (農業共済・JA)
貯金利息	22	貯金利息	光熱水費	692,480	街灯電気料、公民館電気料 上下水道料、ガス料
小計	5,950,662		通信費	33,545	電話料、郵便代
合計	9,573,651		修理費	148,610	街灯修理、公民館修理
			委託費	237,820	コピー機リース料 その他 (除雪・樹木剪定等)

令和5年度 維持建設会計決算報告書

収入の部

(単位：円)

科目	金額	摘要
前年度繰入金	3,719,811	
積立金	558,000 555,000	前期 186件 後期 185件
公民館トイレ工事補助金	1,402,000	
定期利息	170	
貯金利息	16	
一般会計繰入金	1,000,000	公民館建設用
合計	7,234,997	

支出の部

(単位：円)

科目	金額	摘要
第5工区側溝工事	1,446,000	計画最終年
排水路清掃	75,000	大成町との境 (4班)
公民館トイレ更新	2,805,330	
公民館外壁修繕	105,270	
翌年度繰越金	2,803,397	
合計	7,234,997	

※ 建設定期貯金 (1年) 10,000,000円 (JA根上)

厚生費	334,328	香典 (5件) 町内崇拝の碑法要 排水路一斉清掃 (ダンプ借上等) アメシロ薬剤等 出産祝い (5件) 福祉活動推進費 ほほえみネット 大会出場 (北澤苺果 中学生ソフト県選抜)
備品購入費	336,175	消火器等 (自主防災関係) 除草剤等 防災無線貸与金 備品等
助成金	1,410,000	公民館活動費 (前・後・遊ing祭) いきいきサロン 消防団活動
その他	283,583	総会費、事務消耗品費 会議費 (役員親睦・慰労会、防災訓練等) 用地借上げ等
建設会計繰出金	1,000,000	建設会計繰出金 (側溝改修・道路舗装等)
小計	5,856,097	
翌年度繰越金	3,717,554	
合計	9,573,651	

監査報告

令和5年度西二口町一般会計・維持建設会計・墓地管理会計・公民館会計及び春日神社会計の各報告書の収支につきまして、令和5年12月 日に関係諸帳簿を監査いたしましたところ、計数は正確であり内容も正当なもの確認しましたので、ここに報告いたします。

令和6年1月 日

監査委員 本村 宏人
監査委員 西田 武志

令和5年度 墓地管理会計報告書

収入の部

(単位：円)

科目	金額	摘要
前年度繰入金	123,543	
貯金利息	0	
合計	123,543	

支出の部

(単位：円)

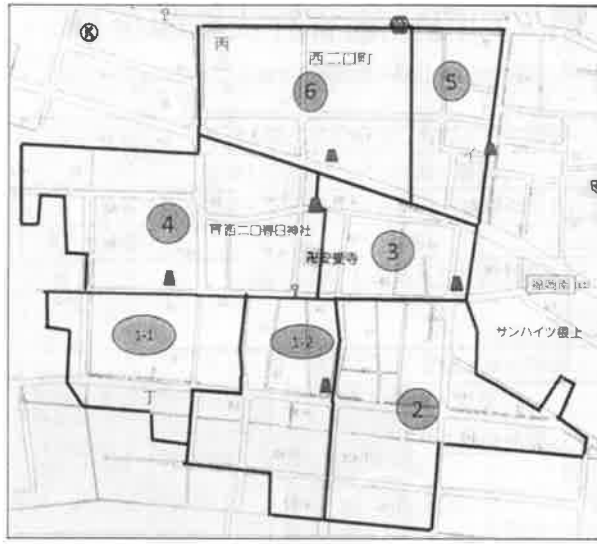
科目	金額	摘要
翌年度繰越金	123,543	
合計	123,543	

町内会だより

西二口町の初総会で第一号議案町内会規約審議として以下の2つの議案の審議がありました。

第一号議案① 第一班の班割について

最近急激に増加した一班の新築住宅による戸数の増加に対する規約で一班を1-1と1-2に班割する案が出され、承認されました。



第一号議案② 町内会費と建設維持会費の負担割合の変更について

能登の震災による町内の影響や風による公民館の屋根の破損についての事例もあり、防

災の見直しの対策の一環として、従来の町内会費を減額し、建設維持会費を増額する案が出され、承認されました。

第二号議案 町内会審議として、旧熊田邸と中村邸の間の道路拡張について

きだ整形外科が熊田氏の土地を譲り受け、老人福祉施設を建設する予定が進行しています。

このままでは、熊田氏東側の市道の建屋及びブロック塀の面する箇所について道路幅が狭くなることから、きだ整形外科と協議し、一部用地を譲り受け、市道幅の狭小部の解消を目指したいと提案があり、承認されました。

必要経費について

分筆後の用地の譲渡費用（無償）
ブロック塀の撤去、水道メータ等の移設費用
当町丙二十六番地の分筆費用（測量費）
分筆後の所有権移転登記費用（能美市への

現状

ランク	町内会費/半期	定義	建設維持会計費	合計
標準1	14,000	標準的な世帯（給与生計・年金夫婦）	3,000	17,000
標準2	11,000	標準1に該当しない世帯・賃貸 父子・母子家庭で子にも収入有の場合	3,000	14,000



変更後（令和6年前期より）

ランク	円/（半期）	定義	建設維持会計費	合計
標準1	12,000	標準的な世帯（給与生計・年金夫婦）	5,000	17,000
標準2	9,000	標準1に該当しない世帯・賃貸 父子・母子家庭で子にも収入有の場合	5,000	14,000

令和6年度

当番日	毎月 第1日曜日（資源の日）		
当番時間	「資源搬入時間」	午前8時～8時30分	
	「公民館清掃時間」	午前8時～8時30分	
出務者	班（各班）		
出務内容	・公民館の清掃（状況により外回りなども含む） ・資源搬入時の手伝い及び整理整頓など		
令和6年 出務の月	1月（2班②）	2月（3班）	3月（4班①）
	4月（5班）	5月（6班）	6月（1班①）
	7月（1班②）	8月（2班①）	9月（3班）
	10月（4班②）	11月（5班）	12月（6班）
令和7年 出務の月	1月（1班①）	2月（1班②）	3月（2班②）
	4月（3班）	5月（4班①）	6月（5班）

「公民館の清掃」及び「資源の日」について（お願い）

寄付、市が所有権移転登記）
分筆後の用地を含めた市道の舗装工事（地元施工で発注、能美市補助50%）

今年度の「公民館の清掃」も昨年と同様に「ゴミ収集カレンダー」の資源の日の午前八時から右表の様に実施いたします。同時に「資源の日」の活動も実施します。当番になった班の人は必ず一世帯から一名出務されるようお願いいたします。

令和6年度 西二口町 のみ活倶楽部 & いきいきカフェ、町民カフェの日程

月	町民カフェ 第2木曜日		のみ活倶楽部 & いきいきカフェ 第4木曜日	
	AM9:30~11:30		のみ活：AM 9:30~10:30 カフェ：AM10:30~12:00	
4月	4日	お花見	25日	
5月	9日	ぶらぶら散歩	23日	
6月	13日	リズム大会	27日	
7月	11日	簡単な軽スポーツ	25日	
8月	13日	小学生とのふれあい	22日	
9月	12日	剣詩舞	26日	
10月	10日	バスハイキング	24日	
11月	14日	歌と寸劇	28日	
12月	12日	クリスマス会	26日	
1月		未定	23日	
2月		未定	27日	
3月		未定	27日	

注意：令和6年4月以降の町民カフェは第2木曜日AM9:30からに変わります。

町の高齢者福祉活動

令和六年度の町民カフェの年間行事予定ができました。高齢者の仲間作りや居場所作りなどの活動「いきいきサロン」と認知症予防の「のみ活倶楽部」の活動日に一杯のコーヒーを飲んでくつろげる場になります。高齢者の方、気軽に参加してみませんか。



★3班 杉田 悠輔

令和五年十二月に引っ越してきた杉田と申します。妻と息子二人、娘一人の五人家族です。元々西任田町に住んでいましたが、新居を探していたところ縁があり西二口町に引っ越してきました。不規則な勤務で地域の皆様にはご迷惑をおかけする事もあるかもしれませんが、今後ともよろしくお願い致します。

転入のごあいさつ

成人おめでと



北室 夢菜

自分を信じ、後悔のない人生を

北室 小百合

まずは能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に一日も早い復興を心よりお祈り致します。



成人式

これまでの20年間、いろいろな経験をし成長してきたと思います。これからは一人の大人として今までの経験を活かし、活躍することを祈っています。

今の自分があるのはこれまで関わってくれた全ての人々のおかげです。周りの人への感謝の気持ちを忘れずこれからも関わる人々との縁を大切にしてください。

だんだんと自立していく姿はたくましいなと思う反面、少し寂しく感じます。うまくいかないこともあると思いますがそのときは遠慮せず頼ってください。

これからも自分を信じ、後悔のない人生にしてください。

町内会長の二年間を振り返り

前町内会長 村田 達成



この二年間、町内の各種団体や多くの方々に御協力とアドバイスをいただきました。御陰で、微力ではありましたが町内会長を務めさせていただきますました。感謝いたします。

今までの町内会長が(六五歳を過ぎ)完全に仕事をリタイアされてから町内会長の仕事に専念されてきたことに比べると、仕事を継続してということもあり、町民の皆様にご迷惑をおかけしたことも多いかと思えます。大変申し訳なく感じております。特に福祉委員会では、ボランティアグループの「ほほえみネット」「いきいきサロン」の方々に、大変お世話になりました。

昨年は四年ぶりに「スポーツフェスティバル」「遊イソグ祭」など大きな行事を行うことが出来ました。例年は主に婦人会、壮年団にお世話していただいていたのですが、昨年は実年会にも御協力をいただきました。町の行事は、より多くの団体の協力があると良いと思えました。

また、この二年間に新しく、若い世代を中心とした二〇軒ほどの転入家族がありました。壮年団や婦人会に参加してくださる方もあり、これからは、こうした方々の意見を取り入れながら町の運営が必要になるかと思えました。

次は、自然災害についてです。突風による公民館の屋根が捲れ上がったこと、線状降水帯による水害、そして今年元旦に起きた地震と、どれも今まで予想もしなかったことではないでしょうか。特に震度5強の地震は、どなたも経験したことがない揺れで、津波の警告と併せ、少しパニックになっていました。そうした中、一〇〇名近い方が公民館に避難されました。町の人々にとって、公民館が拠所となっていることに改めて気付かされました。

地震の被害としては、神社の灯籠を含め奉納物の倒壊が顕著でした。町の鎮守の森、神社であり、義援金を募り対処するなどのことも考えてはどうかと思えました。毎年、防災訓練を行ってきましたが、今年からは今まで以上に緊張感をもって行うことになるかと思えますし、どの様に行うかを、町の防災担当、自衛消防団、防災士の方々とどのように行うかの打ち合わせは、より重要になるかと思えます。

最後になりますが、西二口町の益々の発展と町民皆様のご健康と飛躍の年となりますことを心からお祈り申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

この一年を振り返って

春日神社



氏子総代 本村 彰則

令和六年一月一日、能登半島地震発生、春日神社灯籠等が倒壊しましたが社殿は無事でした。余震が続きますが、皆様が神の御守護により安心・安全な毎日を過ごすことができますよう願っています。

昨年は例祭(元旦祭・春祭り・年末大祓い)に、皆様の参拝、奉納等誠に有難うございました。

秋祭りの行事、獅子舞・巫女舞が四年ぶりに行われ祭りが盛りあがりました。小中学生の皆さん、お世話するPTAの皆様有難うございました。

また、白寿会の皆様には神社清掃、実年会の皆様には神社清掃、神社当番などご協力いただき感謝しています。

例祭は、今年も昨年同様予定してまいりますので、氏子の皆様の参拝をお願い致します。

白寿会



白寿会会長 西田 勝彦

この一年間を振り返っての想い

二年間白寿会の運営に携わり、会員の皆様と役員の方々にご支援とご協力をいただきましたことを感謝いたします。昨年の全行事につきましては、多数の参加をいただき有難うございました。

白寿会会員の中には、お一人住まいでお元気な方も多いですが、一般的には高齢になるほど仕事や家事の時間が減少する分、余暇や趣味の時間が増えます。誰かとともに、いかに充実した余暇の時間を過ごすかが、高齢者の健康長寿

につながる生活時間の使い方になるそうです。我々はこの先、七十代・八十代を迎える後(幸)期高齢者は、老人会と繋がって、健康で楽しい道を、精一杯前向きに進みたいものです。

今年度は新執行部(会長・田中清氏)により、行事計画が立案されます。先輩方が築き上げて参りました白寿会の運営に、引き続きご協力を願ひ申し上げます。

実年会



実年会会長 北室 隆康

昨年一年間実年会の会長を務めさせていただきました。会員の皆様、関係多数の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。

一番の行事であります春・秋の春日神社の祭りに合わせて境内の清掃や祭り当日の受付当番についても、会員の皆様のご理解とご協力により滞りなく終えることができました。神社の維持管理に努めている氏子総代の日常のご苦労に感謝申し上げます。特に能登半島地震で春日神社にも震災を受けることになり境内が一変しました。町内の鎮守の森として崇拜されているものなので、そうそうの復旧を切に願っております。他にも健康講座、スポーツツフェステイバルinねあがり、遊イソグ祭等の準備や活動にも参加し、親睦を深める事もできたと思っております。

これからも実年会の発展の為に協力していきますし、皆様方のご支援お願い申し上げます。

壮年団

壮年団団長 山岸 徹

昨年一年を振り返って、コロナウイルスが5類になつての元年でありいろいろな行事が再開しました。

壮年団として、用水路清掃やソフトボール大会、海岸清掃などがあり町内行事であるスポーツフェステイバルinねあがりや遊イソグ祭のお手伝いをさせていただきました。

約4年ぶりの各行事であったため自分も含め準備や段取りなど忘れてしまつていたこともたくさんあり、手探りしながら何とかこなしたという感じでした。壮年団としては、新旧団員とも壮年団行事と町内行事と一年を通しての流れが経験できたのでとても有意義な一年であつたと思っております。

力不足な自分でしたが、団員始め町内の皆様のご協力のおかげで一年間壮年団団長を務めることができ、感謝いたします。最後に、今後とも壮年団の活動にご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

婦人会



婦人会会長 西田 順子

会長を務めさせていただいて早や一年になります。昨年はコロナウイルスが5類となり様々な行事が復活しました。多忙の中、町内の皆様、会員の皆様に助けられ

て無事行うことができました。とても感謝しております。

また、新たに2名の方が婦人会に入会されて楽しく活動しております。新会員さんは随時募集しておりますのでお気軽にお声掛け下さい。お待ちしております。

環境美化推進活動では住民の皆様のご理解をいただきありがとうございます。今後とも月初めにあるリサイクル回収にご協力の程よろしくお願ひいたします。

一年間、何かと至らないところもあつたと思いますが、役員をはじめ婦人会の皆様のご協力にあつたため感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

小学校PTA

実行委員 中西 紗重

この一年実行委員として様々な行事に関わらせていただきました。どの行事も準備、連絡などに追われ、大変ではありましたが、おかげで町内の方々とお話できる機会もたくさんいただき、楽しく取り組みことができました。

特に踊りの夕べの参加では、可愛い子どもたちの頑張りに感動し、そのうえ賞までいただけことが思い出深いです。どの行事も子どもたちの笑顔に励まされた一年でした。

最後に、何かとご協力くださいました皆様から心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

中学校PTA

実行委員 森本 和昭

中学校PTAでの町内行事といえは秋まつりです。コロナウイルス感染症でしばらく子供獅子は行っていませんでした。子供たちの練習初日の様子を見てみると、本番はどうなるか心配しましたが、何とか形になりホッとしています。秋まつりの本番も大切ですが、小学生から中学生までが公民館に集まって、多少ふざけながらも練習している期間は、子供たちの交流もあり意義があるものと感じました。

本番の日はとても暑かったです。子供の数も減少傾向にあるこの頃です。秋まつりの時期や体制をそろそろ見直す時期ではないかと思えました。

連載

西二口の歴史

西二口町の今昔

南 俊博

私が子供のころ西二口の戸数は五〇戸程度でしたが、現在は二百四十七戸となり、隔世の感があります。町内会の活動やあり方も実状に併せて見直す時期に来ているようです。

私の父は戦争から帰還後、叔父とともに織物の工場を建て、絹織物を生産していました。当時の当時は至るところに織物の工場があり、絹織り物の一つの大産地でした。その後米国の

貿易摩擦で織機の数減らす政策の影響があり、次々と織物工場が消えていき、現在はその面影が殆ど無くなってしまいました。

当地は肥よくの土地と水に恵まれたお米の産地でした。核家族の増加などの社会の情勢により、耕作者の高齢化が進み、当町出身の最後の専業農家が無くなってからは他町からの耕作者に頼ってお米の生産が行なわれています。それに伴って当町の生産組合の役割も変更を余儀なくされています。

第七号で述べたように東本願寺中興の祖と言われる蓮如上人のおかげでこの地は仏教が盛んと言われています。しかし、私の小さい頃と比べると勢いが衰えてきています。

お坊さんを講師に招いて仏教の教えを聞き、学び、自分の生き方を考える「講」という行事があります。根上中学校下で大正七年から継続している「根上講」は各町が交代で当番となつて「講」を行なっています。昨年十月には当町の白寿会が「講」の当番となり、町内外から約七十名が参加し、盛況でした。

第七十一号で明治時代の当地での学制の始まりと推移について述べました。当町で学校教育が始まってから約五十年を経て現在の福岡小学校につながっていることになりました。

能美市ではギガスクール構想で子供達にひとり一台パソコンを配布する教育環境になりました。先月西二口公民館でもe-Learningが使えるようになりました。各種団体でも有効活用をして行く時代になってきました。

思いつくままに昔と今の変化について書いてみました。西二口の歴史の連載はこれにて終了いたします。

おくやみ

謹んでご冥福をお祈り致します



- 川田 幸枝 様 三班 享年八十二歳
- 令和五年十二月二十二日
- 池田 伸朗 様 二班 享年七十六歳
- 令和五年十二月二十三日
- 石川 ふみ子 様 三班 享年百一歳
- 令和六年一月二十四日
- 竹田 朝子 様 一班 享年八十二歳
- 令和六年二月十二日

俳句

池田実枝子

見晴るかす白き山並冬日和
 すすくと伸びゆく若枝梅つぼみ
 薄ら日の午後の散歩や立金花
 満天星の冬芽ゆたかや通学路
 春昼の賑はふ茶房絵手紙展

木村芙蓉子

みいつけた一ばん星の犬ふぐり
 名水のこぼれて甘し春の風
 凍て雪の泥濘む急坂山下の
 白峰を茜に染めて春浅し
 屋根覆ふシートの青に春日差し

編集後記

村田 美乃



お忙しい中、ご協力いただいた皆様には、編集委員一同心より御礼申し上げます。